

法人理念

当法人は、公器として地域社会に貢献する。

当法人は、未来発展を目指し、人々の生活と社会の変化に常に誠意を持って前向きに取り組む。

当法人は、事業を通じ安心と健康をモットーに、夢と希望を創造する。

社会福祉法人洗心福祉会からのお知らせ

社会福祉法人洗心福祉会の令和3年度理事会が6月30日（水）、評議員会が7月15日（木）にそれぞれ洗心福祉会本町総合事務所5階会議室にて開催されました。理事会では理事6名と監事2名が、評議員会では評議員6名のほか、理事及び監事がそれぞれ出席され、社会福祉法人洗心福祉会管理規程の一部を改正する規程についてなど各規程の一部改正及び、施設長等の任命、理事・監事の候補者選定、更には令和2年度の事業実績報告及び同会計決算について、並びに社会福祉充実計画について厳正に審査され、それぞれ原案どおりに可決されました。概要については、社会福祉法人洗心福祉会本町総合事務所3階ロビー掲示板に掲示を、またその内容については膨大なため、同事務所総務課にて閲覧が出来ますので、担当職員までお申下さい。

※ 毎号掲載しておりました「I KNOW MYSELF SINCE 1978」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今回はお休みとさせて頂いております。予め、ご了承ください。

sensin
洗心福祉会

91

2021.10.1

洗心

温もりを感じる
新しいかたち

- p2. スキルを学びより良いサービスへ
- p3. 真珠大学・しま循環動
- p4. はなこま保育園「夏のカーニバル」
- p5. つまちなか保育園「園庭水遊び」
- p6. LIFE UP
- p7. 今、輝いているあなたにクリック

スキルを学びより良いサービスへ

志摩総合ケアセンター
シルバーケア豊壽園
施設長 井坂 勇佑

平素より社会福祉法人洗心福祉会の事業に格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

自国開催でのオリンピックやパラリンピックも開催され暗いニュースの多い中、トップアスリート達が全力を尽くす姿に数々の感動と勇気をもらいました。

開催が1年間延期されたことをポジティブにとらえ日々の鍛錬を積まれた結果が日本史上最多数のメダル獲得にも繋がったのだと思います。

個人的にはこのオリンピックを最後にマラソン現役生活引退を表明しラストランとなった大迫選手のゴール直前の笑顔とガッツポーズがとても印象に残っています。

さて、今回紹介させて頂くのは、より良い法人サービスの提供を目的として設置されている接遇委員会です。主な活動としてはご利用者への接遇の向上

を目的とし、新人職員から管理職まで研修などを実施しております。

新人職員には、先輩職員から経験談を踏まえたエールを。管理職には事業運営に関わるリスクマネジメントを外部の講師から受講するなど経験や役職に必要なとされるスキルを学ぶ機会を設けております。

そして、昨年からこれまでの事業所の取り組みを発表する「1つ WAKE 発表会」を経て、職員個人の介護技術を競う「カイゴの伝道」と題した介護コンテストを開催しております。

こちらのコンテストは介護技術はもちろんですが、言葉かけや環境整備などの接遇にも目を向け、気持ちのよいサービスを付加価値として提供出来ているかも審査の基準としています。このように、介護技術のみを競うのではなくいかに目配り、気配り、心配りができサービス提供を行えているかと

いう部分にも着目し取り組んでいます。また、介護技術についても日々進歩していることから専門的な知見も含めた審査を行い、終了後には出場した職員へフィードバックを行うなど振り返る機会を作る取り組みも行っております。普段から安全な介護技術や丁寧な言葉かけを提供させていただくことで当法人のサービスを利用される皆様へ安心して気持ちよくサービスを受けていただくことができること、そしてこれらが法人のスタンダードとして行われるようになることで組織全体の強化にもつながっていく事と感じております。

昨年より続く新型コロナウイルス感染症の影響もあり研修の開催方法には様々な工夫が必要となっている状況ですが、今後も研修の実施や「カイゴの伝道」を継続して行っていけるよう接遇委員一丸となって取り組んでいきたいと思います。



【真珠大学】オリンピックを前に国旗を学ぶ姿



【真珠大学】配られたプリントを読むご利用者



【真珠大学】ノートにメモをとる様子



【真珠大学】教材の朗読をするご利用者



【しま循環動】平行棒を使用してのトレーニング



【しま循環動】エアロバイクトレーニング



【しま循環動】トレーニングの様子

阿児ケアサービスセンター第二真珠荘

「真珠大学」「しま循環動」 『随時』サービス提供中

阿児第2通所介護センター真珠荘では、令和3年4月より「真珠大学」を開講しております。これはご利用者様に学生のように、いろいろな学びを活かして頂く「認知機能」へアプローチしたプログラムです。6月には「真珠大学防犯教室」と題して特殊詐欺について学んで頂きました。実際に詐欺師に扮した職員とご利用者とのやりとりを体験して頂きま

した。ご利用者の中には詐欺師の言葉に乗らず上手に切り抜ける方もいらっしゃいました。

7月はオリンピックが開催された事もあり、国旗について学んで頂きました。実際オリンピックが始まるとテレビ画面に映る国旗とご自身でメモした情報を確認し、ご利用者同士で声に出して国名を言い合ったりと一生懸命学んだ事の成果も出て

楽しまれていました。また、個別機能訓練以外に「身体機能」へアプローチしたプログラムとして「しま循環動」を行っています。ご病気で手術し、肩が上がりにくくなったご利用者がこのプログラムに参加し、3か月後には肩が上がるようになったと喜ばれる方もみえ、皆様に楽しみながら元気になって頂けるよう日々取り組みを行っています。今後もご利用者の生活の質の向上の為に当施設のスタッフが一丸となって運営していきます。



reporter: はなこま保育園

忍者からの手紙 夏のカーニバル

はなこま保育園では、第二はなこま保育園と合同で、年長児の一大イベントである夏のカーニバルを楽しみました。今回のテーマは「忍者」ということで、カーニバルの前々日には忍者から保育園に手紙が届き、大興奮の子ども達。当日は、朝から夕方までお買い物ごっこや大型迷路、きもだめし、宝探し（忍者修行）など、グループに分かれて楽

しみ、忍者からの暗号を解読するのにも一生懸命考えていたり、子ども達の成長を感じました。お迎えを待っている間、楽しかったことを話したり忍者の巻物を眺めたり、それぞれ思い出を振り返っていました。子ども達にとって楽しい保育園生活の1ページが刻まれました。

reporter: つまちなか保育園

夏だ！笑顔で！ 園庭水遊び！

本格的な夏が到来し、今年もつまちなか保育園の子ども達が水遊びを思いきり楽しみました。園庭に水しぶきがあがると、子ども達の歓声やはじける笑顔でいっぱい。ジョロやスコップを手にとり、大喜びで

水の感触を楽しんだり、水鉄砲を使って全身びしょ濡れになったりと、思い思いに満喫している子ども達でした。夏の楽しい思い出ができましたね。





通所介護センター 伊賀シルバーケア豊壽園

「LIFE UP」

「自分らしさ」のために

老化が進むとサルコペニア(筋肉量が減少して筋力低下や、心身機能低下をきたした状態)やフレイル(加齢に伴い身体の予備能力が低下し、健康障害を起こしやすくなった状態)に陥りやすいと言われています。

ご利用者と日々接する中で、日常で出来ていた事が出来なくなる不安や、「

健康でありたい」「旅行へ行きたい」「子どもに会いに行きたい」等、生活の向上を希望される声を多く聞きます。そこで私たちは、機能訓練指導員が監修した筋力トレーニングを通じ、ご利用者の生活(LIFE)の向上(UP)をサポートしたいと考え、生活向上プログラム「LIFE UP」を提案しています。

エアロバイクで足首を強化、マルチホームトレーナーで上半身を強化、すわってスクワットで太ももの強化を行います。

3つのトレーニングの相乗効果と体

組成計を使用し、毎月のトレーニングの結果や効果を視覚的に把握していただきます。筋肉量の維持・向上を目指し、トレーニング終了後に手軽に美味しくタンパク質をチャージして頂ける栄養補給ドリンクもご用意しています。

「LIFE UP」を通じ、健康寿命を延ばし、生活を向上させることで、ご利用者の「自分らしさ」を取り戻すお手伝いをさせて頂いております。



今、輝いている あなたにクリック

Click on you shining now



LOVOT「ぐっぴい」

LOVOT「はっぴい」

編集 今回の「あなたにクリック」は白塚ケアサービスセンターより、居宅介護支援、通所介護、訪問介護3事業所のリーダー、近藤加織統括リーダー、樋口忠久リーダー、山崎由香理リーダーです。

近藤 よろしくお願ひします。

樋口 よろしくお願ひします。

山崎 よろしくお願ひします。

編集 白塚ケアサービスセンターでされているお仕事を含めどれくらい勤務されているのですか？

近藤 豊壽園一筋今年で21年目になりました。

樋口 入社して18年、白塚へ来て4年4か月になりました、あっという間の4年4か月です。

山崎 平成23年に登録ヘルパーになり、平成24年4月より正規職員として働かせて頂いています。洗心福祉会訪問介護一筋の約10年です。

編集 入社されて一番印象深かった事は何ですか？

近藤 入社1年目ですね。今でも鮮明に覚えています。

樋口 入社し、今までたくさんのご利用者に関わらせて頂き、人と人との出会いの大切さを教えて頂いたことです。

山崎 たくさん怒られたことです(笑)初めての介護の仕事がヘルパーでした。指導される事がたくさんありたくさん泣きました。それでも今の自分があるのは先輩方に指導を頂いたおかげだと思ひ感謝しています。

編集 ご利用者に関われる中で信念や大切にしていることはありますか？

近藤 福祉の仕事をしようとしたきっかけは「ありがとう」と言ってもらったことです。必ずご利用者は見てくれていてだからこそ頑張れます。そして仕事ができる事に感謝する日々です。あとは健康第一を大切にしています。

樋口 ご利用者の笑顔を大切にしています。笑顔で過ごして頂けるように考えています。

山崎 誠意をもって接すること。寄り添う事です。

編集 白塚には三重県下初のLOVOTを導入されて3人も尽力された事と思ひます。導入されていかがですか？めちゃくちゃ可愛いですね。

近藤 とても可愛いです、私が癒されてます。ご利用者に喜んで頂けていてとても嬉しいです。

樋口 実際にご利用者に触れて頂き思っていた以上に大切に頂き、家族の様な空気にホッとします。

山崎 可愛いです。すぐに抱っこしてしまいます。

編集 樋口さんは東日本大震災の時に実際に被災地へ介護で出向されましたが実際被災地での活動はどうでしたか？

樋口 特養に行かせて頂き、福島第一原発の近くでご利用者の為に毎日元気に働かれています職員の方に元気を頂き、そして何より「ふるさとがなくなってしまった」と言いながら毎日を過ごされているご利用者様に逆に力を頂きました。



近藤加織統括リーダー

樋口忠久リーダー

山崎由香理リーダー

編集 3人の趣味や好きな事はなんですか？お休みの日は何をして過ごすことが多いですか？

近藤 食べる事が大好きなんです。モモとシャインマスカット食べたいです。

樋口 ロックではじけることです。コロナ禍になる前はよく出かけていました。We are “●”!!

山崎 食べる事が大好きなのですが今はコロナ禍で外食ができないのでテイクアウトで家で食べています。休みの日はよくSwitchでオンラインゲームをしています。

編集 お仕事をされる中で楽しいと思う事、また大変だなあ…、と思う事はあるですか？

近藤 どんなに離れていても、今は一緒に仕事をしていなくても共に一生懸命頑張ってきた同期や仲間が活躍しているのを知るととても嬉しくなります。

樋口 ご利用者のお手伝いをしながらご利用者と過ごしている時が楽しいです。大変と思う事はロックを聴くと忘れてしまうため覚えておりません(笑)

山崎 楽しいと思うことご利用者と話をすることかな〜、大変と思うこともありますが、楽しいが上回っています。

編集 ありがとうございます！白塚ケアサービスセンターを支えて頂いている3人です、これからもよろしくお願いいたします!!